

平和への祈り

No. 2

男住屋町
源 N きいち

自由社





光の子はどの場に

立ちすくんでしまつた。

眼の前の道路や倒れた

氷の向には焼けたいれた

人々が見るも悲惨な

染めて死んでゆく

(2)



田中

光

東京都江戸川区鹿骨五丁目一七一五

永田為春

電話(三七)五九一一番



5

あせりはしーと静しんまのこ

ほカエえ物モノ音ネなトしトのトこトのトこトのト

懐ヤケ跡アトのあちくちにははままで

子コ世セ気キ味ミな黒煙クロクハがガもモくクくク

とト上カろロんンせセ



ススおオ父トウヤヤらラ

老ニまマけケ悲カキしくク心ココロ細ホソくク父チチの名ナをヲ

年トシんンたタ . . . 左ヒダリのノなナ

「老オシまマいイんン 耶ヤけケしシとトゆユのノ 女メのノ

人ヒトのノ声コエにニ

東京都江戸川区鹿骨五丁目一七一五
永田 為春
電話(三七九)五九一一番



光子が

振返る見え方は近所

に任じてみる老婦の

ガリコウウ
ウケモチ
ロシセイ
校の交棒ちの先生

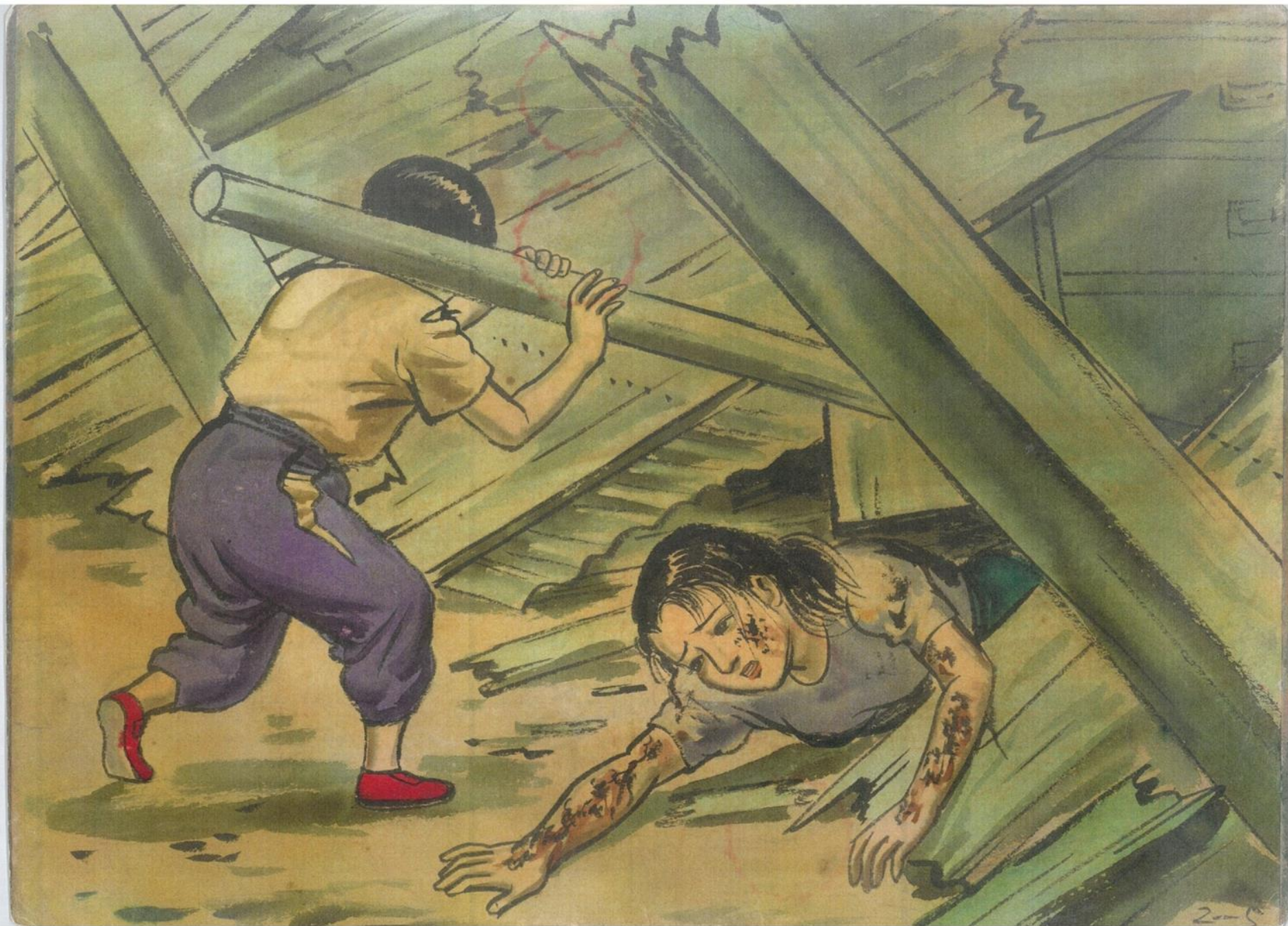
たつた

ス
光子
ある先生

「先生、大いじよぶ」



東京都江戸川区鹿骨五丁目一七一五
永田 為春
電話(三宅)五九一一番



リロウ
利口なえろは
手頃な

マルタ
丸太をみつけ
それと
テコ

オモ
にし
重い柱を
持ち上げ
た

オモ
えし
笑生は
やくと

エタ
その下から
はい
てす
ろが

てま
て

「光子さん有りがとう」



東京都江戸川区鹿骨五丁目一七―五

永田為春

電話(三宅元)五九一一番





7
先

あつ、お母さん

し



トッポン
突然 先生は そう 時

と 一人の死骸に かけよ

スー
つた 路上に 倒れし

死んで いるのは 先生 の

たつた 一人のお母さん だったの

であります

東京都江戸川区鹿骨五丁目一七一五

永田 為春

電話(三九七)五九二一番



先生

「お母さん」



先生はお母さんの身に

抱きつよ声をあげて

泣きも 父を思い

だし 昔に泣けしめるの

た

東京都江戸川区鹿骨五丁目一七―五

永田 為春

電話(三六九)五九一一番



やかし二人は死骸の尻

く 転コロガころころ肉アソコと通トウして

なホン道ドウにぞち 老シ子は

自分ジブンのおオハハハハも老ロウ生の

ススお母カマのヨウおオハハ死シんで

どオモうウかと思オモうと

又マタ新コトウし、流ナガが流ナガれ

て、くるの地チうウ

~~その時集が~~

東京都江戸川区鹿骨五丁目一七一五
永田 為春
電話 (03) 591-1151



老

あつ。老生... どうしたの

諸に其の... 老生が

突然の... 村にし

は... と倒れたのだ

老おは... 老生

老生... しっかりし

と... ながら



東京都江戸川区鹿骨五丁目一七一五
永田 為春
電話(三六九)五九二一



抱ま 起一 七 七が先生はもう

何もしるはくわなかつた

この鼻からも口からも

毒が血がふまてして

先生 死にぢやいぢや先生

先生は泣きながら先生

先生をゆすぶつた 母さん

先生は母とも姉とも男さん

やさしい先生だつた

果して哀れな

先生は？

田丸

東京都江戸川区鹿骨五丁目一七一五
永田 為春
電話(三七)五九一一番

又一段

和への祈り

沖石巻

東京
金澤版

自由社

東京
電話 9122

東京都江戸川区西葛5丁目2-7-5
永田為春
電話 (03) 591-1188